

UR都市機構と名古屋市健康福祉局・子ども青少年局が 連携と協力に関する協定を締結 ～住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりの推進～

名古屋市健康福祉局・子ども青少年局と独立行政法人都市再生機構（以下「UR都市機構」）は、令和8年2月3日、連携と協力に関する協定を締結しました。

本協定は、地域包括ケアシステム、子育て支援、児童の健全育成、障害者福祉、地域福祉の推進に向けた取り組みを充実させ、UR賃貸住宅を核として、地域住民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりを一層進めることを目的としたものです。



左から

名古屋市健康福祉局

やまだ たかゆき
山田 隆行 局長

UR都市機構中部支社

たけうち ひでお
竹内 英雄 支社長

名古屋市子ども青少年局

さとう せいじ
佐藤 誠司 局長

UR都市機構は、少子高齢化への対応、地域包括ケアシステムの構築に資するため、団地を核とした「地域医療福祉拠点化」（注）の取り組みを進めており、これまでも、地域医療福祉拠点化の取り組みを行っている団地を中心に、名古屋市各区と連携・協力し活動を行ってまいりました。今般、健康福祉局・子ども青少年局と連携することで、より政策意義の高い取り組みを行うことが可能となり、地域共生社会等の実現及び社会的課題の改善に資する協働体制の構築を図ってまいります。

本協定の締結を契機に連携内容に基づく取り組みを推進してまいります。本年度においては、別紙のとおり、市内のUR賃貸住宅の集会所等で、高齢者向けの取り組みを試行するなど、今後市と協働した取組みを一層充実させてまいります。

（注）地域の関係者の方々と連携・協力しながら、団地を“地域の資源”として活用し、地域に必要な住宅・施設・サービスの整備を推進。団地を含む地域一帯で、”多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち”《ミクストコミュニティ》づくりを目指す取り組み。

【本件に関する問い合わせ先】

UR都市機構 中部支社

住宅経営部 ウエルフェア推進課

総務部 総務・法務課（報道担当）

（電話）052-238-9284

（電話）052-238-9105

1 今後の取り組み（予定）

- ・日時：令和8年3月下旬
- ・場所：名古屋市内UR賃貸住宅集会所等
- ・内容：介護予防・認知症予防の普及啓発の実施

2 協定の内容

（協定の目的）

第1条 本協定は、名古屋市健康福祉局（以下、「甲」という。）、名古屋市子ども青少年局（以下、「乙」という。）及び独立行政法人都市再生機構（以下、「丙」という。）が相互に緊密な連携と協力をすることにより、地域共生社会の実現及び社会的課題の改善に資する協働体制の構築を図り、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境づくりを推進することを目的とする。

（連携内容）

第2条 甲、乙及び丙は前条の目的を達成するため、丙が名古屋市内で管理するUR賃貸住宅を中心とし、甲丙、乙丙又は甲乙丙協議のうえ定めた次の各号の事項（以下、「連携事項」という。）について、連携・協力をする。

- 一 地域包括ケアシステムの推進に関すること
- 二 子ども・子育て支援・児童の健全育成に関すること
- 三 障害者福祉の推進に関すること
- 四 地域福祉の推進に関すること
- 五 上記取組みに係る情報発信に関すること
- 六 その他、地域共生社会の実現に資すること

3 （参考）これまでの名古屋市と連携した取り組み

①子育て支援



【アーバンラフレ鳴子（緑区）】

子育てサロン「Kira☆Kuru」

アーバンラフレ鳴子集会所にて、毎月第2水曜日に地域の担い手と共に開催。未就学児向けのあそび場と親同士の交流スペース、子育て情報の提供、ホット一息できる空間を提供。

緑区鳴子地域子育て支援センター（鳴子保育園）との交流企画を令和5年から3年連続開催。

②地域包括ケアシステム



【尾上団地】(北区)

「尾上フェスタ」(令和7年10月)

北区福祉課等及びURグループ等と
共催。

地域共生社会「高齢者が最後まで自分らしく生活できるまち」の実現を
目指して開催。ジャズ演奏・健康測定等のほか、団地で活動するサークルや老人会の成果発表及び活動をPR。



【白鳥パークハイツ日比野東 (熱田区)】

「安否確認付き配食サービス弁当試食会」

(令和7年11月)

熱田区福祉課等及びURグループ等と
共催。

孤立死の防止・健康生活支援、外出・交流
機会の創出を目的に開催。

UR都市機構の歩みは戦後の住宅不足解消に端を発しています。1955年から様々なステークホルダーとともに、時代時代の多様性に即し、安全・安心・快適なまちづくり・くらしづくりを通して、「人が輝く“まち”」の実現に貢献してまいりました。そしてこれからも、変化する社会課題に挑戦し続けることで皆さまにお応えし、「人が輝く“まち”」づくりに不可欠な存在でありたいと考えております。これまで培ってきた持続可能なまちづくりのノウハウをいかし、都市再生事業・賃貸住宅事業・災害復興支援・海外展開支援に全力で取り組んでまいります。

<https://www.ur-net.go.jp/>



——社会課題を、超えていく。——



UR都市機構

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

UR都市機構は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。